

ご縁の「縁」+楽しむという意味の英語「ENJOY」＝「縁じよい」つながりながら楽しもうという取組です。

～認知症にフレンドリーな社会に向けた合同展vol.4～

宮代で共に暮らす 映画会&講演会

大盛況にて終了しました！



令和5年11月26日、日本工業大学5号館にて、『宮代で共に暮らす映画会・講演会』を開催しました。宮代町社会福祉協議会、宮代町、日本工業大学、宮代町立図書館では、定期的に会議を行い連携することで、認知症の方にやさしいまちづくりを目指した取組を行っています。今回の『宮代で共に暮らす映画会・講演会』は、住み慣れた地域社会で、支え合っていくことの重要性や素晴らしさをお伝えするために実施しました。映画では家族の絆や、病気に対する苦悩や葛藤のほか、住み慣れた地域で生活することの現実が強く打ち出されていました。住み慣れた地域社会でその人らしく、最後まで生活していくためには、住民同士の支え合いや励まし合いと医療・介護の専門職の力が不可欠であるということがあらためて感じられました。

信友直子(監督・一人娘)さんの講演では、「お互いさま」の社会をみんなで作っていくことが大切だとのお話がありました。また、介護サービスを利用することで、介護する方の視野が広がり精神的にゆとりがもてるようになったとのお話もありました。当日は、多くの皆さんにお集まり頂き、世代も違えば置かれている状況も異なりますが、参加者お一人お一人の心に、何らかの気づきや発見があった講演会であったと思います。来年も、縁じよいライフ事業で皆さんが一步はみ出せるような企画や講座をお届けしたいと思います。当日お越しいただきました皆様、悪天候に関わらず参加して頂きまして誠にありがとうございました。

悪天候に関わらず、
多くの来場者の皆さんで
会場は賑わいました！



信友さんのお話は、
参加者一人一人の
心に響くものでした。



町内小学生の皆さんの
心がこもった絵手紙です！
本当に感謝です。



認知症に関する
パネル展示です。
誰でも分かるように
内容を工夫しました。



シニアはじめて講座を開催！



講師 金融広報アドバイザー
高梨 文夫先生

令和5年10月29日、福祉交流館すてっぷ宮代にて、「シニアはじめて講座～金融のプロによる老後のお金と生活～」を開催しました。今回の講座の中心テーマは、ズバリ『お金』です。平均寿命が伸長し、ご長寿な方が多くなったこと自体は素晴らしいことであると思います。しかし、同時に考えなければならないのが、健康維持と老後の生活費の確保ではないでしょうか。

講師としてお招きしたのは、埼玉県金融広報アドバイザーであり、一級FP技能士・CFPである高梨文夫先生です。先生からは、金融知識のほか、それぞれの人生プランに応じた生活費の考え方や、具体的な資金計画の話まで、幅広く人生設計に応じた対策についての講義をして頂きました。

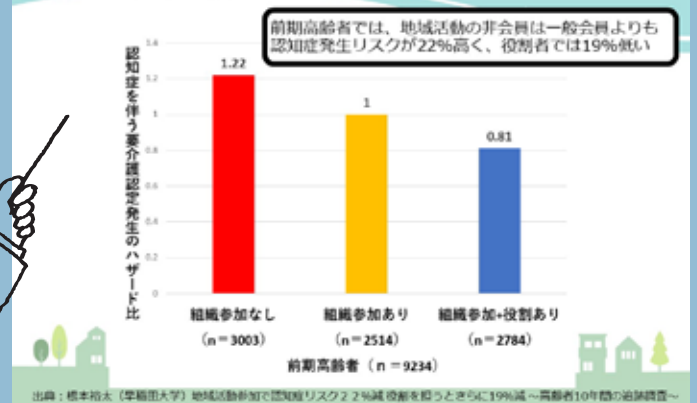
先生のお話では、お金だけの話ではなく、資金計画を立てて実行する活動そのものが、介護予防や認知症予防にもつながり、その人らしい老後生活を送ることに繋がる活動であるということがとても印象的でした。

高梨先生のお話の後には、宮代町健康介護課より、『地域活動のススメ』というテーマで、地域活動を行うことが、健康(介護予防・認知症予防)に繋がるという内容でお話がありました。特に印象的だったのが、ただ単に参加するというだけでなく地域活動に役割を担うことで、さらに認知症リスクを低減させることができるという内容でした。もし、『活動に参加はしているけど、役割はめんどくさいなあ～』と思っている方は、これを機に一步踏み出してみたいはいかがでしょうか。勇気をもって一步踏み出すことが、健康や新たな生きがいに繋がるかもしれません。当日ご参加して頂いた皆さん、お越しいただきましてありがとうございました。

シニアはじめて講座は、満員御礼の大盛況でした。



地域活動参加で認知症リスク22%減
役割を担うとさらに19%減



新年のあいさつ (新井町長)

縁じょいメンバーの皆様、新年あけましておめでとうございます。
皆さま健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。



昨年は新型コロナウイルス感染症が5類となり、制限されていた行事・活動が再開できるようになった喜ばしい年でありました。コロナ禍という不安な日々を乗り越えた私たちですので、人と人との繋がりをより一層大切に、前へ踏み出していただければと思います。今後の益々のご健勝・ご活躍をご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。